



三田中だより

平成28年度第11号

平成29年3月1日

港区立三田中学校

三田中が大好きな3年生へ ～全力で取り組む文化と強い団結力と～

校長 渡邊 常次

都立の一般入試、学期末考査も終了し、ほっと一息ついている人も多いと思います。

さて、あと2週間余りで、卒業式です。3年生を卒業生として送り出す、1、2年生、先生方、主事さん方も皆さんとの思い出がたくさんあります。思い出を共有しながら、今年も厳粛で、三田中生の思いを凝縮させた感動的な卒業式にしましょう。3年生は、もちろんですが、1、2年生の卒業式に参加する思いと態度もとても重要です。様々な場面でお世話になった3年生に感謝する気持ちを大切に卒業式に臨みましょう。

3年生は、7日（火）の3年生を送る会を皮切りに、謝恩式、球技大会、未来の親体験授業（赤ちゃん先生）、卒業遠足、高校の出前授業、赤羽小への出前合唱など、本当に盛りだくさんの行事が待っています。一つ一つの行事が三田中学校最後の行事です。濃密な時間の中で、3年間、仲が良かった仲間との思い出をたくさんつくってほしいと思います。

3年生は、全体的に穏やかな雰囲気をもっています。ところが、いったん体育祭や合唱コンクールなどの行事に向き合いはじめると、猛烈な勢いがありました。そして、たくさんの個性的な人が、よくまとまり、団結力もありました。3学年は、いい意味で「ゆるやかな共同体」であったような気がします。ここでいう「ゆるやか」とは、だらしないということではありません。集団全体が、寛大、寛容であるということです。共同体とは、小さな社会的集団というほどの意味です。つまり、集団のなかで、きちんと社会的な規律や秩序が確立され、その中で一人一人が様々な個性をのびやかに発揮しながら、それを受け入れ、認め、互いに尊重し、豊かに成長してきたように思います。そういう豊かな成長を先生方はいつも温かく見守り、時には厳しく、時には優しく粘り強く指導してきました。

3年生が三田中に残してくれたものは、何でしょうか。それは、「何事にも全力で取り組む姿勢」です。そして、そこからうみだされた強い団結力と豊かな人間関係です。授業、行事、部活動、生徒会、委員会活動、そして、進路に向けての受験など、どれをとっても1、2年生の手本であり、模範でした。そういう意味で、自ら先頭に立って行動することで、後輩たちに三田中の良さを教え、縦の豊かな関係をつくり、とてもいい影響を与えた、身近な先生でもありました。個人においては、この全力で取り組むことで得られる達成感、充実感、そして、見てくれている人に与える感動の素晴らしさを実感したと思います。その頑張りに送られた、たくさんの拍手、応援やエールに触れ、愛情や感謝の心も学んだはずです。もし、人を喜ばせること、楽しませること、感動させること、感謝されることで自分が幸せを実感できるようになったとしたら、それは、大きな、大きな成長です。

3年生の皆さんは、母校となる三田中学校が好きですか。三田中学校に誇りをもっていますか。タイトルの「三田中が大好きな3年生へ」は、三田中に対する「大好き」というストレートな思いと三田中に対する「誇り」を胸に、巣立って行ってくれたらうれしい・・・という強い思いと願いをこめて書きました。小学校から三田中へ入学して、新しい友達、先生方に出会い、様々なことを体験し、その中で、いろいろなことを感じ、悩み、苦しむ、考え、さらに成長した3年間だったと思います。そして、卒業。三田中学校は、いつまでも、皆さんの「心のふるさと」です。ふるさとは、いつもあたたかく、居心地がいい場所です。いつでも遊びにきてください。そして、これからも応援しています。

○ 「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」で

国務大臣・国家公安委員会委員長賞を受賞しました。

「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」（9月実施）で、本校2年生の作品が、全国4万点近くの応募の中でトップの国務大臣・国家公安委員会委員長賞を受賞しました。おめでとうございます。

ルールの向こう側にあるもの

三田中学校 二年

私の親戚が先月、交通事故に遭いました。スピードを出して車を運転していたらしく、急に出てきた人をよけ、壁にぶつかりました。夜、かかっていた電話で、私は病院に駆け付けました。彼は、幸い意識はあり、話すことはできたのですが、着いた服には血が付き、耳からは多量の出血、そして、首は動かせなくなっていました。彼の母親は、心配のあまり動揺しながらも、「他人を傷つけなくて良かった」と何度とも言っていました。私はそれを聞いて、息子のケガに心痛めることはもちろんですが、それ以上に、他人を傷つけたり、命を奪うことは、大変なことなのだと気付きました。

今日、「命の大切さを学ぶ教室」という授業を受けて、親戚の事故のことを鮮明に思い出し、改めて交通事故の被害者と被害者遺族、更に加害者と加害者の家族のことを考えました。

お話しして下さった岩寄さんは、飲酒運転のひき逃げ事故で息子さんを亡くされています。岩寄さんのお言葉からは、被害者遺族のやり場のない悲しみが伝わってきました。十年以上という月日を経ても、涙を流しながら語られたお姿から、その悲しみが、決していやされることのないものな

のだということが分かります。

元紀君のご飯を毎日用意し、誕生日のプレゼントを欠かさず、そして納骨することもできないという日々が、これからも続くということに胸がしめつけられるような悲しみを感じ、同時に、こういう事故をなんとかしても無くさなければならぬと強く思いました。

そのために、私には何ができるのでしょうか。まずは、自分が加害者にならないために、交通ルールを守ることはもちろん、ルールの向こう側には、必ず誰かの命があるのだということを心に留めていきたいと思えます。私の乗っている自転車も、ルールを守らなければ人の命を傷つける道具になってしまいます。

次に、今日学んだ被害者遺族の苦しみを、一人でも多くの人に伝えることで、交通事故が計り知れない、大きな悲しみを生み出すものだという意識を社会全体で持つるようにしなければならぬと考えます。

社会全体が悲しみを共にすることができれば、飲酒運転が後を絶たない現実も変わっていくのではないのでしょうか。命の大切さを実感するということは、失われた命に対する苦しみや悲しみを知ることから始まるのだということを学びました。

○ 百人一首大会（1年）を実施しました。

2月2日（火）5、6校時。1年生が体育館で百人一首大会を実施しました。静かな緊張感の漂う中、熱戦が繰り広げられました。学級対抗戦で行われた結果、2組が優勝しました。おめでとうございます。

○ 校外学習（2年）を実施しました。

2月10日（金）。2年生が鎌倉で校外学習を実施しました。肌寒く時折小雪が舞う中、ほぼ計画通りのコースを班別で回ることができました。来年度の4月に実施予定の修学旅行に向けて、確かな手ごたえを感じる充実した校外学習でした。

★ 3月のおもな予定 ★

3月 1日(水)	学年末考査 (社、数、音)	3月15日(水)	卒業式予行
3月 2日(木)	都立高校一般入試発表	3月17日(金)	卒業式
3月 4日(土)	授業日、新入生説明会(14:00～)	3月20日(月)	春分の日
3月 6日(月)	生徒会朝礼	3月21日(火)	避難訓練
3月 7日(火)	3年生を送る会	3月22日(水)	保護者会 (1、2年) (14:30～)
3月 8日(木)	未来の親体験 (3年)	3月24日(金)	修了式
3月13日(月)	卒業遠足 (3年)	3月26日(日)	春季休業日始 [4月6日(木)始業式]

三田中だよりは学校ホームページ (<http://mita-js.minato-ky.ed.jp/>) にも掲載しています。